

## 除害施設設置等（使用・変更）届出書

年 月 日

(宛先) 所沢市上下水道事業管理者

住所  
届出者 氏名  
電 話

所沢市下水道条例第10条の4の規定により除害施設の設置等について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称			
工場又は事業場の所在地			
△工場又は事業場の概要	別紙のとおり。	※整理番号	
△除害施設の構造	別紙のとおり。	※受理年月日	年 月 日
△除害施設の使用の方法	別紙のとおり。	※審査結果	
△下水の量及び水質	別紙のとおり。	※備考 流域処理区 柳1 柳2 柳3 柳4	
△用水及び排水の系統	別紙のとおり。		

(注)

- 1 ( )内については、不必要な部分を線で消すこと。
- 2 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- 3 ※印の欄には記載しないこと。

## 1 工場又は事業場の概要

### (1) 法人等の概要

主たる業種		※産業分類	
資本金	万円	全従業員数	

### (2) 当該工場又は事業場の概要

製品名・生産量 (工場のみ記入)		病床数 (病院のみ記入)	床
従業員数 (パート等含む)	人	操業(診療)時間	~ (時間)
操業(開設)年月日	年 月 日	敷地面積	m <sup>2</sup>
休業日		建物床面積	m <sup>2</sup>
処理すべき 汚水の種類	1 製造工程排水 2 食堂・厨房排水 3 診療排水 4 その他 ( )		

(3) 工場又は事業場の所在地は、添付第 図のとおり。(当該工場又は事業場を赤色で表示すること。)

### (4) その他

#### 1) 建設費等の概要

除害施設等建設費	万円(概算額)	
公的融資利用の有無	有 ・ 無	(有のみ機関名を記載)

#### 2) 工場又は事業場の概要について参考となるべき事項

備考 ※印には、記載しないこと。

## 2 除 害 施 設 の 構 造

(1) 除害施設の設置場所

添付第 図のとおり。(図中の除害施設は、青色で記入すること。)

除害施設の構造図は、添付第 図のとおり。

(2) 除害施設に係る工事の着手及び完成の予定年月日並びに除害施設の使用開始の予定年月日

工 事 着 手 ( 予 定 ) 年 月 日	年      月      日
工 事 完 成 ( 予 定 ) 年 月 日	年      月      日
使 用 開 始 ( 予 定 ) 年 月 日	年      月      日

(3) 除害施設の種類、型式、構造、主要寸法及び能力並びに当該除害施設

除 害 施 設 の 名 称			
型                      式			
構                      造			
主 要 寸 法 (たて×よこ×深さ)			
能                      力			
備                      考			

(4) その他除害施設の構造について参考となるべき事項

### 3 除 害 施 設 の 使 用 の 方 法

(1) 汚水の処理の系統

添付第 図のとおり。

(2) 汚水の集水及び除害施設までの導水の方法

添付第 図のとおり。(集水及び導水までの経路を、赤色で記入すること。)

(3) 除害施設の使用時間間隔及び一日当たりの使用時間並びにその使用に季節的変動がある場合には、その概要

除 害 施 設 の 名 称			
使 用 時 間 間 隔			
一 日 当 た り の 使 用 時 間			
季 節 的 変 動 の 概 要			
備 考			

(4) 除害施設において中和、凝集、酸化その他の反応の用に供する消耗資材の一日当たりの用途別使用量

除 害 施 設 の 名 称			
用 途 別			
消 耗 資 材 の 名 称			
一 日 当 た り の 使 用 量			
備 考			

- (5) 除害施設の使用時における当該除害施設による処理前及び処理後の汚水の水質  
 (当該事業場から排除される下水に係る水質の基準が定められた事項に限る。) の  
 通常値及び最大値並びに当該汚水の通常値及び最大値

単位：mg/L (温度(°C)及びpHを除く)

除害施設の名称	処 理 前		処 理 後	
	通 常	最 大	通 常	最 大
汚水の量 (m <sup>3</sup> /日)				
汚水の水質	通 常	最 大	通 常	最 大
温 度				
アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素				
水素イオン濃度(pH)				
生物化学的酸素要求量(BOD)				
浮遊物質質量(SS)				
沃 素 消 費 量				
ノルマルヘキサン抽出物質含有量				
鉍油類				
動植物油脂類				
窒 素 含 有 量				
磷 含 有 量				
銅及びその化合物				
亜鉛及びその化合物				
クロム及びその化合物				
フェノール類				
鉄及びその化合物(溶解性)				
マンガン及びその化合物(溶解性)				
弗 素 化 合 物				
カドミウム及びその化合物				
シアン化合物				
有機リン化合物				
鉛及びその化合物				
六価クロム化合物				
砒素及びその化合物				
水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物				
ポリ塩化ビフェニル(PCB)				
トリクロロエチレン				
テトラクロロエチレン				

備考 除害施設ごとに記入すること

(6) 除害施設の処理によって生ずる残さの種類及び一月間の種類別生成量並びにその処理の方法の概要

残 さ の 種 類			
一 月 間 の 生 成 量			
処 理 方 法 の 概 要			
備 考			

(7) 汚水を公共下水道へ排除する方法（排出口の位置及び数並びに排出先を含む。）

排出口の位置は添付第 図のとおり。

排出口の数は合計 か所。（雨水のみ か所）

排出先の位置は添付第 図のとおり。

(8) その他の除害施設について参考となるべき事項

設計計算書は添付第 のとおり。

## 4 下水の量及び水質

排出口の名称				
	通常	最大	通常	最大
汚水の量 (m <sup>3</sup> /日)				
汚水の水質	通常	最大	通常	最大
温度				
アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素				
水素イオン濃度(pH)				
生物化学的酸素要求量(BOD)				
浮遊物質質量(SS)				
汚素消費量				
ノルマルヘキサン抽出物質含有量				
鉱油類				
動植物油脂類				
窒素含有量				
燐含有量				
銅及びその化合物				
亜鉛及びその化合物				
クロム及びその化合物				
フェノール類				
鉄及びその化合物(溶解性)				
マンガン及びその化合物(溶解性)				
弗素化合物				
カドミウム及びその化合物				
シアン化合物				
有機リン化合物				
鉛及びその化合物				
六価クロム化合物				
砒素及びその化合物				
水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物				
ポリ塩化ビフェニル(PCB)				
トリクロロエチレン				
テトラクロロエチレン				

(注)汚水の水質の単位は、温度及びpHを除きmg/L

## 5 用 水 及 び 排 水 の 系 統

(1) 用水及び排水の系統

添付第 図のとおり。(用水系統は青色で、排水系統は赤色で記入すること。)

(2) 用途別用水使用量 (単位：m<sup>3</sup>/日)

水 用 別	上 水 道	
	地 下 水	
	その他 ( )	
	回 収 水	
	合 計	

排 出 口 の 名 称						計
用 途 別	作 業 用 水					
	生 活 用 水					
	そ の 他 ( )					
	そ の 他 ( )					
	そ の 他 ( )					
	計					



6 その他の参考事項

(1) この届出に係る連絡先（所沢市下水道排水設備指定工事店以外の場合）

会社名及び 担当部署	
(電話)	
担当者名	

(2) この届出に係る排水設備の工事を施工する所沢市下水道排水設備指定工事店

会社名及び 担当部署	
(電話)	